

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,389	t-CO ₂
①温室効果ガス除去（酸化炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,389

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	t-CO ₂	令和 6 年度	t-CO ₂	令和 4 年度	t-CO ₂	令和 5 年度	t-CO ₂	令和 6 年度	t-CO ₂
温室効果ガス総排出量										
削減率（対 基準年度）			%			%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	/ m ²	令和 6 年度	/ m ²	令和 4 年度	/ m ²	令和 5 年度	/ m ²	令和 6 年度	/ m ²
原単位あたりの排出量	0.02883		0.0284		0.02906		0.02886		0.02813	
削減率（対 基準年度）			1.5 %		▲ 0.8	%	▲ 0.1	%	2.4	%
原単位あたりのみなし排出量						/ m ²		/ m ²		/ m ²
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

目標を達成できた。日頃から省エネを意識した運用ができていていると考えられる。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズを5月20日頃～10月末日頃まで実施。 ・空調の温度設定を政府推奨の温度設定とする。 	クールビズ実施期間を掲示し、教職員並びに来学者に浸透する。	<ul style="list-style-type: none"> ・使われていない教室等を巡回中に見つけた際は空調をオフにしている ・クールビズを実施
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルターの定期清掃を行い、空調の効率化に努める。 ・ブラインドの活用により、日射負荷の減少及び断熱性の強化を図る。 ・グリーンカーテンの活用をはかる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・フィルターの定期清掃を実施 ・授業の一環でグリーンカーテンを実施
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの照明を人感センサー照明に変更する。 ・使用していない学生ホール・講義室や、昼休み・時間外の消灯を徹底する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・使われていない教室等を巡回中に見つけた際は消灯を行っている ・一部LED照明化
一般管理・エネルギー使用量の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンに依る電力デマンドの監視を実施する。 ・エネルギー使用量の月毎の経年変化（3年間）を把握する。（電気・ガス） 		<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視によりいつ頃にピークを迎えるか、どのようにピークシフトができるかを把握しピークシフトができるよう調整
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・離席時にはスリープ機能を活用する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スリープ機能を活用している

指針第2号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 印刷物削減およびペーパーレス化の実施 廃棄物処理時のルール細分化の実施 学校敷地内での喫煙禁止

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

毎月3日間 (7のつく7日、17日、27日) に「環境美化の日」を設定し、実施している。
--